



**HOTEL  
METROPOLITAN**

EDMONT TOKYO JR-EAST

ホテルメトロポリタン エドモント

# 「宿泊約款・利用規則」

Provision Governing Accommodation Agreement

## 宿泊約款

### ●本約款の適用範囲

#### (第1条)

- 1.当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとする。
- 2.当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとする。
- 3.「エドモント倶楽部の会員」は、この約款によるほか「ホテルメトロポリタン エドモント利用規定」の定めるところによります。

### ●宿泊契約の申込み

#### (第2条)

- 1.当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項をホテルに申し出ていただきます。
  - (1) 宿泊者名
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

### ●宿泊契約の成立等

#### (第3条)

- 1.宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとする。  
ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2.前項の規定により宿泊制約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4.第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとなります。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

### ●申込金の支払いを要しないこととする特約

#### (第4条)

- 1.前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2.宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

### ●宿泊契約締結の拒否

#### (第5条)

- 1.当ホテルは、次のいずれかに該当する場合は、宿泊契約の締結をお断りすることがあります。
  - (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
  - (2) 満室により客室に余裕がないとき。
  - (3) 宿泊の申込み者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序または善良の風俗に反する行為をするおそれがあると当ホテルが判断したとき。
  - (4) 宿泊の申込み者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - (5) 宿泊その他ホテルの施設、サービス等に関し合理的な範囲を超える負担を求められたと当ホテルが判断したとき。
  - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により、宿泊させることができないとき。
  - (7) 東京都旅館業法施行条例第5条(第1・2号)の規定に該当するとき。
- 2.当ホテルは、宿泊の申込み者が次のいずれかに該当すると判断した場合は、宿泊契約の締結をお断りします。
  - (1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に規定する暴力団員、または暴力団、暴力団員が活動を支配する法人その他の団体の関係者であるとき。
  - (2) 反社会的団体及びこれに類する団体の関係者であるとき。
  - (3) 暴行、傷害、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合。

### ●宿泊客の契約解除

#### (第6条)

- 1.宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2.当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊約款を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じたに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3.当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

### ●当ホテルの契約解除

#### (第7条)

- 1.当ホテルは、第3条第1項により宿泊契約が成立した場合であっても、次のいずれかに該当する場合は、当該宿泊契約を解除することがあります。
  - (1) 第5条第3号から第7号のいずれかに該当すると判断したとき。
  - (2) 第10条に定める利用規則に反する行為があったとき、またはそのおそれがあると当ホテルが判断したとき。
  - (3) 前各号のほか、解除する正当な理由があるとき。
- 2.当ホテルは、第3条第1項により宿泊契約が成立した場合であっても、第5条第2項に該当すると当ホテルが判断した場合は、当該宿泊契約を解除します。
- 3.当ホテルが前2項の規定により宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

### ●宿泊の登録

#### (第8条)

- 1.宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
  - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
  - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
  - (3) 出発日及び出発予定時刻
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

### ●客室の使用時間

#### (第9条)

- 1.宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日正午までとします。  
ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1
  - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1
  - (3) 超過6時間以上は、室料金の全額

### ●利用規則の遵守

#### (第10条)

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

### ●営業時間

#### (第11条)

当ホテルの主な施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示等でご案内いたします。  
尚、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

## 利用規則

ホテルの公共性と安全性を確保するため、当ホテルをご利用のお客さまには宿泊約款第10条にもとづき下記の規則をお守りくださるようお願いいたします。

1. 客室内で暖房用、炊事用の火気はご使用しないでください。
2. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙はしないでください。
3. ロビーおよび客室内に次のようなものを持ち込まないでください。
  - (1) 動物、鳥類(ペット類)。但し、盲導犬はこれには当たりません。
  - (2) 著しく悪臭を発するもの。
  - (3) 火薬や揮発油など発火あるいは引火しやすいもの。
  - (4) 適法に所持させていない銃砲刃剣類。
4. ホテル内で、賭博および風紀を乱すような行為、または他のお客さまに迷惑をおよぼすような言動はしないでください。
5. 訪問客を客室にご案内しないでください。
6. 許可なく客室やロビーを事務所および展示室代わりにご使用しないでください。
7. ホテル内で他のお客さまに広告物を配布するような行為はしないでください。
8. ホテル外から飲食物等のご注文やお持込みはしないでください。
9. お預りのお洗濯物や落し物の保管は、ご指定のない限りご出発後3ヶ月とさせていただきます。その後の処置につきましては法令に基づいて取扱いさせていただきます。
10. 館内の諸設備および諸物品についてのお願い
  - (1) その目的以外の用途でご使用しないでください。
  - (2) ホテルの外へ持たさないでください。
  - (3) 他の場所に移動したり加工したりしないでください。
11. 客室は、ご宿泊以外の目的にはご使用しないでください。
12. 次のような場合は、直ちにホテルのご利用をお断りいたします。
  - (1) 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求およびこれに類する行為が認められるとき。
  - (2) 当ホテルを利用する方が心身耗弱、薬品、飲酒による自己喪失など、ご自身の安全確保が困難な場合、また他のお客さまに危険や恐怖感、不安感をおよぼす恐れがあると認められるとき。
  - (3) 館内および客室内で大声、および喧騒な行為、その他で他者に嫌悪感を与えたり、迷惑をおよぼしたり、また、賭博や公序良俗に反する行為のあったとき。

※その他上記各事項に類する行為のあるときは、ご利用をお断りいたします。

### [お願い]

1. 現金および貴重品はフロントの保管金庫(無料)でお預りいたしております。保管金庫をご利用にならない場合の紛失・盗難につきましては当ホテルは一切責任を負いかねます。
2. お会計は、ご出発の際お支払いください。またフロント会計から勘定の提示がございましたらその都度お支払いください。
3. 領収証は各部屋単位に用意しておりますので、同室のお客さまが分割領収証をご希望の場合は、早めにお申しつけください。
4. ナイトウエア、スリッパ等のみままで、客室からお出になることのないよう特にお願ひ申し上げます。

## TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

### ●Scope of Application (Article1)

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.
3. Edmont Club members are subject to the Hotel Metropolitan Edmont policy provisions, besides the Edmont Club stipulations.

### ●Application for Accommodation Contracts (Article2)

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
  - (1) Name of the Guest(s).
  - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival.
  - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1).
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph(2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

### ●Conclusion of Accommodation Contracts, etc. (Article3)

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

### ●Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit (Article4)

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

### ●Refusal of Accommodation Contracts (Article5)

1. In any of the following cases, the Hotel may decline to conclude an Accommodation Contract:
  - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
  - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available.
  - (3) When the person applying for accommodation is deemed likely by the Hotel to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
  - (4) When the person applying for accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
  - (5) When the Hotel determines that it has been requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation, the facilities or services.
  - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.
  - (7) When the provisions of Paragraph 1-2, Article 5 of Tokyo Metropolitan Ordinance No.63 are applicable.
2. In the event that the Hotel determines that any of the following apply to the person applying for accommodation, it may decline to conclude an Accommodation Contract:
  - (1) The person is a member of a gang or is affiliated with a corporation run by a gang or gang members as stipulated in the "Act for the Prevention of Wrongful Acts by Members of Organized Crime Groups" or any other such group.
  - (2) The person is affiliated with an antisocial group or the like.
  - (3) The person is deemed to have engaged in violence, assault, threats, blackmail, coercive and inappropriate requests or the like.

### ●Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest (Article6)

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

### ●Cancellation of Accommodation Contracts by the Hotel (Article7)

1. Even in cases where the Hotel has concluded an Accommodation Contract in accordance with Article 3.1, the relevant Accommodation Contract may be cancelled in any of the following cases:
  - (1) Item 3, 4, 5, 6 or 7 under Article 5 is deemed to apply.
  - (2) The Guest has engaged in behavior that violates the rules set forth in Article 10 or is deemed by the Hotel as likely to do so.
  - (3) The Hotel has a valid reason other than the above to cancel.
2. Even in cases where the Hotel has concluded an Accommodation Contract in accordance with Article 3.1, the relevant Accommodation Contract may be cancelled if the Hotel deems Article 5.2 to apply.

### ●Registration (Article8)

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation;
  - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s).
  - (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan.
  - (3) Date and estimated time of departure.
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

### ●Occupancy Hours of Guest Rooms (Article9)

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. to 12 noon of the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
  - (1) Up to 3 hours: one third of the room charge
  - (2) Up to 6 hours: one half of the room charge
  - (3) More than 6 hours: room charge in full

### ●Observance of Use Regulations (Article10)

The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

### ●Business Hours (Article11)

1. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in the Hotel premises, service directories in guest rooms and others.
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.